

発行所  
石川県保険医協会

金沢市尾張町1丁目9番11号  
〒920 尾張町レジデンス2F  
電話 (0762) 22-5373番  
発行人 平松昌司  
印刷所 ユーアイ印刷  
(会費月額 3,800円)

# 石川保険医新聞

……主な記事……

- 2面 保団連定期総会印象記
- 3面 黄色いハガキ
- 4面 クロスワードパズル当選者発表
- 5面 医療・福祉を支える人たち  
—金沢こころの電話—

## 容認できないう低い改定 四月から診療報酬改定へ 実質二・五%

中央社会保険医療協議会は二月十四日に総会を開き、十二日に厚生大臣より諮問のあった四月一日実施の診療報酬改定につき、諮問どおり答申した。

今回の改定内容に対する館中医協会長のコメント、並びに総会後の診療側委員、支払側委員の記者会見での評価は次の通りである。

館中医協会長は、「今回の診療報酬改定は、現行診療報酬に関し、かなり広範な内容にわたる見直しを行う内容になった」と述べており、実質二・五%アップというわずかな財源ではあるが、「抜本改革」に近い改定であることを示唆した。また、診療側委員を代表した吉田日医常任幹事は、「限定された財源の中で思切った改定を行った。今までになく大幅な組み替えを行ったので、風当たりは強いものと思う」と、半ば開き直った態度を表明。今回の改定の趣旨については、病院は入院料、手術料を重点に、診療所は診察、在宅などプライマリケアを重点において配分した。限られた財源の中で、矛盾や不合理的な大きい点を是正した。引き続き、診療報酬基本問題に導き込まれた差額ベッド

の規制緩和、時間外診療と予約診療、特別給食など患者への差額徴収は労働組合代表委員も認めたことを明らかにした。

このように今回の改定は、

### 持論

インフォームド・コンセント、この言葉は、何も最近ばかりのものではないことは無論である。医師は諸検査の前には必ず患者の訴えをよく聞き、具体的な検査法を決定し、その検査結果を参考として総合的判断のもとに病名と治療法を確立する。そしてその病状と治療法を患者に分かりやすく、丁寧に説明する。その結果、患者が医師に信頼を寄せ、治療法に同意を示した後、いよいよ治療に入るわけである。

### マスコミ批判の盾、 インフォームド・コンセント

最近、マスコミで発表された患者の医師への不満、ワースト一位に「医師が訴えをよく聞いて

けるべきである。

医師がインフォームド・コンセントを当然のものとするれば、患者の医師への信頼は深まるので

ある。そうすれば現在の低医療

### 新点数検討会

- 金沢会場  
とき 3月29日(日) 午前10時～正午  
ところ 石川県社会教育センター 4階 講堂  
(金沢市観光会館前)  
※駐車場はありません。
- 七尾会場  
とき 3月29日(日) 午後3時～5時  
ところ 七尾労働福祉会館 4階 ホール  
(七尾市役所裏)  
※駐車は七尾市役所をご利用下さい。有料)

### 新点数運用説明会

- 金沢会場  
とき 4月26日(日) 午前10～正午  
ところ 石川県社会教育センター 4階 講堂
- 七尾会場  
とき 4月26日(日) 午後3時～5時  
ところ 七尾労働福祉会館 4階 ホール

### 医心凡話

最近、新しい性病とも言われるクラミジア感染症が増加している。この四年間の金沢日赤病院の五千人の調査では五・九%の二百九十四人が陽性で、非妊婦の内、十五歳から二十歳の五十七人(二十九%)、二十一歳から二十五歳では四十五人(二十%)が陽性であったという。

そこで、筆者は昨年十二月と今年一月二十日までに六十三人を検査した結果、四十三人(七一%)が陽性であり、その七一%である三十二人が未婚者である。この病気の特徴は患者の半数以上が無自覚であること、妊婦では流早産の原因になること、重症になれば卵管閉塞になり、相手の男性も精管閉塞で不妊症になることである。

セフフェム系の抗生物質がいろいろの感染症に多用されるようになってから少なくなっていた梅毒、淋病に代わり、今後、猛威をふるいそうなのがクラミジアである。セフフェム系抗生物質が無効なことと最近の若者の性風俗がそれに拍車をかける。好色こそ人類繁栄の源とはいえず、エイズ、クラミジアの感染を考えると、婚外交渉を自重しなければならぬ時代になりつつある感じがする。

そのうち、石川県下、いや日本中の美男美女の子種が途絶えるかもしれないのである。

療費による窮乏状態に陥った医療現場という「病氣」について、国民から正しいコンセンサスが得られ、医療費の適正な改正という「治療」が、スムーズに国民に受け入れられ、国民のためになる適正な医療が行われるはずである。

現在のマスコミは決してわれわれには味方してくれない。時にはたくみに世論を操り、現在の医療費が正しいものであるかのように報道される。ならば、まずは国民を味方にすべきであり、兎にも角にも一人一人の患者を大切にあなたたかく守るのがベストと思う。

このため保険医協会では、三月四日に開かれる厚生省全国技官会議の配布資料「点数表の改正点の解説」にもとづいて発行する『点数表改正点のポイント』(月刊保団連臨時増刊)をテキストに、新点数検討会を開催します。協会の新点数検討会は懇切丁寧で、改正点の考え方と疑義解釈が大変よく分かると毎回評判を呼んでいます。今年も能登地区の会員医療機関の便宜を図って、三月二十九日に金沢、七尾の二会場で開催します。

また、実際に新点数を運用して生じる疑義の解釈とレセプト記載要領について、四月二十六日に「新点数運用説明会」を金沢、七尾の二会場です。

# 保団連第30回定期総会

(1月25・26日、東京ホテル浦島)



全国から317人が出席して開催された

## 開業医の将来と診療報酬改定を 中心に議論

原 和人(金沢市・外科)

全体的には、第一に、開業医の将来に対する危機感と展望について、第二には診療報酬の改定についてが主な議論であった。

情勢の項については、保団連の弱い点であると認識しており、常任幹事会でも議論したが元気が出てこない。展望につながるようの方針を作ったとの報告があった。

私の『国民の第一線医療への期待を、即、開業医への期待と考えてよいか』という発言に対する回答は、『現実には第一線医療を担っているのは開業医であるし今後、住民の要求にどのように対応していくのかを模索しなければならぬ』というものであった。

実際、医療法改定にみるように、八〇年後半より九〇年代にかけて、政府の医療政策がストリートに貫徹されていまいのが実状であり、それに依拠しながら、国民の立場に立って医療を良くする運

動を強化していかなければならない。しかし、現実には開業医医療に対する危機感根強く、それらに対して有効な実践が少くないのが現状であろう。

第二の診療報酬の改定については、この十年間、診療報酬の実質的な引き上げがないことに対する不満が鬱積しており、保険医協会の存在そのものも問われるという発言もあった。

診療報酬改善に対して、もう少し保団連がかかわれないかという意見もあったが、これは中央でも努力はするが、地方から医師会、歯科医師会を民主化して欲しいという意見であった。

勤務医に対する発言が数県からあり、『今後、勤務医が増加し、勤務医の入会をすすめるべし』(福島)、全体的には勤務医の活動を強化していこうという意見が多かった。

**囲碁解答**

黒死で外から狭めてから急所に置きます。

## 開業医医療の在り方 そのものも検討を

### 石川協会からの発言

私は、総会活動方針案を支持する立場から、開業医医療が今後どうあるべきかについて発言します。活動方針案は、『国民医療の中で、客観的には、ますます第一線医療への期待が高まっていることは、開業医の将来に明るい展望を示すものである』と述べています。

私は、第一線医療への期待が、即、開業医への期待と短絡視することに、疑問があります。

活動方針案にも述べられているように、高齢者人口の増大、慢性疾患患者の増加、国民各層の健康への不安などにより第一線医療への期待が寄せられています。しかし、高齢者医療においては、在宅医療に端的にあらわれているように、従来の往診という形態だけではなく、トータルな医療形態が求められています。そのような意味で、開業医の高齢者医療

への在り方そのものを検討していかない限り、在宅医療は、病院の在宅部門や今後、ますます進んでいくであろう営利的な在宅機関に取って代わられてしまう危険をはらんでいます。

また、慢性疾患管理においても、薬物療法中心ではなく、患者の生活習慣そのものを変えていく指導が重要で、そのためにはパラメディカルの果たすべき役割が大きくなっていきます。

また、国民各層の健康への不安の第一は、癌に対する不安です。開業医も癌の早期発見に力を注がなければ、国民の医療要求に答えることにはなりません。

従って、これらの国民の医療要求に答えていくためには、開業医の医療を維持発展させていくための経済的基盤の確立や医療制度の充実を求めていくと同時に、開業医医療の在り方そのものも検討していかなければならないと言わざるをえません。

二月十四日に開かれる第十八回定期総会を目前にして、今回は協会活動を支える屋台骨とも言えるべき予算案の検討、そのうえ予算案の検討、そしてその実質的裏付けとなる会費は十年間据え置かれてきたが、現状のままではいかどうか熱心な討議が行われた。その結果、会費はあくまでも今後の方針に基づいた予定事業に合わせ徴収すべきだが、今後は二年毎にその妥当性を詳細に検討することとし、次年度は若干の会費値上げも止むを得ないということになった。

また一月二十五日に東京で開催される保団連総会には、患者の要求に即応できるよい医療を目指すべき予算案の検討、そのうえ予算案の検討、そしてその実質的裏付けとなる会費は十年間据え置かれてきたが、現状のままではいかどうか熱心な討議が行われた。その結果、会費はあくまでも今後の方針に基づいた予定事業に合わせ徴収すべきだが、今後は二年毎にその妥当性を詳細に検討することとし、次年度は若干の会費値上げも止むを得ないということになった。

「第一線医療を担う開業医の役割強化のためには、

**会費改訂で熱心な討議**

第17回理事会  
1月21日・15人出席

結局、病診連携や診々連携の中での家庭医のあり方をさぐるべき」と。

協会事務局からの懸案のワープロ買い替えとレーザープリンター購入については約半年の議論を経てようやく認められることになった。スピーディに仕事をやるうという話があまりスピーディに通らなかったのは、何事にも常に慎重にあたらないければという皆の基本的精神の現われか。

(舟木 記)

**<1月> 理事会 点描**

保険医協会の理事会は、毎月第一・第三火曜日に開かれます。

報告事項で主な議題は次のとおり。

総務部から会員数(六百五十八人)の報告があり、二月一日付けで会員名簿を作成することが提案・了承され、七百八人の早期実現に向けて一致協力することが確認された。

財政部からは多様化する協会事務の、より正確で効率的な処理と会員サービスの迅速性を高めるためにOA化を進めることが提案され、とりあえず事務局員全員にパソコンの操作技術を取得させ、パソコン導入の検討を進めることが了承された。

学術・保険部からは新点検検討会(三月二十九日)および運用説明会(四月二十六日)を今年に金沢・七尾で開催すること

も新年号コンクールへの応募を決めており、会員と協会とのパイプ役としての責務を着実に果たしている。

午後九時からの協議事項では、二月十五日に開かれる第十八回定期総会に向けての準備が議題の中心になった。活動の充実にもない十年間値上げしないうりくりして進めてきた財政も、いよいよ限界に達し、今後のさらなる発展のために会費の値上げ提案が出され、次回理事会では具体的な値上げ幅を検討することになった。

(事務局 杉野)

**定期総会の準備が中心**

第16回理事会  
1月7日・17人出席

# さらに問題事例が...

## —協会に寄せられた『黄色いハガキ』から—

### 【問題事例41】

《保険者》社会保険

《事例》

- (1) 膠原病……抗核抗体、RAHA、CH50、CRP、IgA・M・G
  - (2) 高ガンマグロブリン血症……免疫電気泳動
  - (3) 甲状腺腫……マイクロゾームテスト  
サイロイドテスト
- いずれも上記診断名で検査過剰。

《主治医の意見》

(1)(2)(3)ともに、医学的常識、医学的必要性から当然認められるべき検査であると思われる。

《保険医協会の見解》

(1)の病名は、「SLE疑い」といったような範囲の狭い病名にした方が良いかも知れません。先生のご意見はごもっともだと思います。検査の頻度が問題になっているのかも知れません。(2)および(3)については認められて当然だと思います。

### 【問題事例42】

《保険者》国保(門前町)

《事例》

慢性胃炎の病名に、ストロカル6T、コランチル6.0を投与。  
コランチル6.0は過剰とのこと。

《主治医の意見》

通常使用量の範囲内で不当である。

《保険医協会の見解》

コランチルの常用料は1日3グラムです。患者によっては6グラムまで認められています。先生が不当だと思われるのは当然です。ただ、ほとんどの患者に6グラムが投与されているとなると問題になる場合があります。

### 【問題事例43】

《事例》

1991年8月分より、初診時の血液検査に含まれるHBsAgがすべて減点査定されてきております。医療スタッフや他への感染予防防止も含めて、その意見をレセプトへ付記しました。すべて減点査定のままでした。

《主治医の意見》

他の数個所の医療機関へも現状を聞きましたが、初診時血液検査でのHBsAgは特に問題ないようです。どうして当院だけが減点査定されるのでしょうか。

《保険医協会の見解》

HBs抗原は、入院時には文句なしに認められています。ただし、外来初診時に全例に実施することは適正な保険診療とは言えません。症状に合わせて、例えば肝炎が疑われる時や内視鏡検査の施行を予定する場合などに実施すれば認められるはずですが。

### 【問題事例44】

《保険者》社会保険

《事例》

- ①最近、蛋白分画の減点が多すぎるように思われます。
- ②審査委員との懇談会を年2~3回に増やせないものでしょうか？

《主治医の意見》

蛋白分画の異常は、急性・慢性疾患、肝・腎疾患、悪性疾患など異常の出現する頻度は高く、上記疾患の診断があったり疑われる時には幅広く認められる検査であると思われる。

《保険医協会の見解》

①蛋白分画も当然認められるべき検査です。た

だし、外傷や便秘症などに実施すれば問題ありと言わざるを得ないと思います。

②審査委員との懇談会は、できれば年2~3回開きたいところですが、スケジュール的に困難です。ご了承ください。

### 【問題事例45】

《保険者》社会保険

《事例》

貧血(RBC 240×10<sup>4</sup>、Hb 6.6g/dl)および膀胱癌(疑)の病名で、便ヒトヘモグロビン検査過剰で減点された。

《主治医の意見》

消化管出血を疑うのは医学的常識であり、再審査理由を提出するのがばからしくなります。

《保険医協会の見解》

先生が憤慨されるのは当然です。頑張って再審査請求してください。

### 【問題事例46】

《保険者》社会保険

《事例》

週1回、定期的外来通院中の糖尿病患者で、月3回のグルコース測定を月1回に減点された。ほかにも糖尿病でグルコース測定回数の減点あり。

《主治医の意見》

外来通院中の糖尿病患者はコントロールが不安定であり、グルコース3回測定は決して多くはなく、月1回でよいとされる医学的根拠はないと思われる。

《保険医協会の見解》

これは全く納得できないケースです。再審査請求されることはもちろんのこと、社保・国保合同小委員会に提出して、審査の不当性を訴えておいた方が良いのかも知れません。このような事例はレセプトおよび増減点通知書のコピーの存在が望ましく、不当性を訴える根拠になると思います。

黄色いハガキは毎月1回、保険医新聞に同封しています。  
保険診療上の問題点、トラブルなどをぜひお寄せください。  
石川県保険医協会  
黄色いハガキ運動推進委員会

# 共済だより

## 『休業保障共済制度』に

ご加入の先生へ

自宅入院とも給付されます。

休まれたら、すぐ事務局までご連絡下さい!!

☎076-211(三)5373

協会会員も六百六十人となり、会員数が増加するに伴って先生方の休業も多くなっています。

そこで休業された時から給付が支給されるまでの日程と一連の注意事項を明記します。民間保険と違いドクターだけの手作り制度ですので、個別の対応がしにくいこともあります。会員各位のご理解ご協力をお願いいたします。

### 一、どんな場合給付されるの？

ご加入の先生自身が、病気が、けがで診療(完全に業務しないこと)ができなくなったとき、入院、自宅療養とも対象となります。ただし、自家治療は認められませんので必ず他の医師に受診してください。その日より休業が開始したものとみなされることとなります。

なお、受診される場合は、保険医療機関に受診して下さい。柔術、整体、鍼灸、マッサージなどは対象となりませんので、ご注意ください。

### 二、何日目から？

完全休業日(例えば、午前中診療をしていて午後急病で倒れて休業した場合は、翌日となる)から六日目より給付対象となります。

### 三、お金のこと

給付期間は傷病休業四〇日(長期療養一八〇日間、最高で六三〇日間の保障です。同じ病気を何回繰り返しても期間内は給付されます。ただし長期療養のみの給付はできません。給付金は一日当たり入院七、〇〇〇円、自宅六、〇〇〇円(これに加入人数を掛けて下さい。(例：八口加入で入院二日、自宅九日とすると一六〇万八千円となります))

### 四、入院とは？

休業の原因の治療を目的に他の医療機関に収容されることを言い、加入者自身の管理する病・医院での入院は、自宅療養扱いとなります。

### 五、自宅療養とは？

診療ができない状態で、自宅で休業をして(業務をしない)いる場合に給付されます。この場合第三者の医師にかかり、一週間に一回の通院が必要です。(主治医の先生から二週間に一回の受診などの指示があった場合は事務局へご連絡下さい)

### 六、中途加入の方へ

十二月一日加入の方は、傷病による休業は三ヶ月間免責で、三月一日以降の原因による傷病が給付の対象となります。ただし明らかかなケガの場合(疾病の合併がない)は、十二月一日より、対象となります。

## 給付請求の注意事項

### 一、協会事務局へご連絡を！

休業されたときは、自宅、入院の有無を、また、退院、復業の場合も速やかにご連絡下さい。

### 二、給付請求は毎月提出

休業は、月単位の請求となります。加入者自身が記入する休業報告書、主治医の先生にお書きいただく医療証明書(二部)をお送りしますので、月初めに医療証明書(主治医の先生へ)を、協会へ直送していただきます。

復業後六ヶ月を超えすと、遅延理由書が必要となります。なお、一年を経過しますと受給の権利が消失しますのでご注意ください。

### 三、復業するとき

事前に協会へご連絡下さい。主治医の受診がなく復業すると給付の対象となりません。例えば退院し二週間分の薬をもらい、十五日目に復業し、この間一回も通院がなかったら、退院後一週間給付は足切りとなります。

### 四、閉院のとき

休業中に病・医院を閉院し、保険医療機関並びに保険医について廃業届を行った場合は、届出の翌月一日をもって、本制度を脱退することになります。(勤務医の場合は勤務先を定年退職した翌月一日)

### 五、勤務医の方へ

転院、転居、他県へ転出、住所、引き落とし口座などの変更は、直接事務局へご連絡下さい。募集は生命保険会社が訪問しましたが、初めに述べましたように、ドクターの管理になるため、保険会社はタッチしません。ご協力下さい。

### 六、給付金は非課税です。

# 呆けの予防・早期発見

〈5〉

浅ノ川総合病院脳神経センター

江 守 巧

## できる限り 早期発見を

これまでの号で強調して来たように、痴呆については治療が手遅れにならないために、できる限り早期に発見しなければなりません。家族が「おかしい」と気付く初期の痴呆症状としては、次に述べる周囲への無関心と記憶障害が多いようです。

①周囲に対する関心の低下  
周囲に対する関心の低下が気付かれるのは、表情や感動に乏しく、物事をしようとする意欲がなくなったり、新しいものに対する好奇心がなく、一つのことを考えると他のことに全く考えず、最近の出来事をまるっきり忘れていたりすること、家族が気付くようです。例えば、昨日レストランへ食事に行ったとして、正常人では何を食べたかを忘れても、レストランで食事をしたことは覚えていきます。食事に行つたことをまるっきり忘れて

②記憶力の障害  
少し前の記憶力、すなわち記憶力の低下は、同じことを何度も繰り返したり、最近の出来事をまるっきり忘れていたりすること、家族が気付くようです。例えば、昨日レストランへ食事に行ったとして、正常人では何を食べたかを忘れても、レストランで食事をしたことは覚えていきます。食事に行つたことをまるっきり忘れて

## 長谷川式が十七年ぶりに改訂

- ◎改定版長谷川式簡易知能評価スケール  
質問内容 (30点満点。20点以下は痴呆の疑いがある)
- ①お年はいくつですか?  
(1点。2年までの誤差は正解)
  - ②今日は何年の何月何日ですか?何曜日ですか?  
(年、月、日、曜日各1点)
  - ③私たちが今いるところはどこですか。  
(自発的に正解なら2点。5秒おいて、家ですか?病院ですか?施設ですか?の中から正解なら1点)
  - ④これから言う3つの言葉を言ってください。あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。  
(各1点。例:梅、犬、自動車)
  - ⑤100から7を順番に引いてください。  
(一回目、二回目各1点)
  - ⑥私がこれから言う数字を逆に言ってください。6-8-2、3-5-2-9。(各1点)
  - ⑦先ほど覚えてもらった(④の)言葉をもう一度言ってください。(自発的に正解なら各2点。植物、動物、乗り物のヒントで正解なら各1点)
  - ⑧これから5つの品物を見せます。それを隠しますので、何があったか言ってください。(質問は、時計、かぎ、タバコ、ペンなど互いに無関係なもの。各1点)
  - ⑨知っている野菜の名前をできるだけ多く言ってください。(10秒待っても答えない場合は打ち切り。5個までは0点。6個で1点、7個で2点というように数えていき、10個以上は5点)



このほど、老人性痴呆の診断における有効な手助けとされてきた「長谷川式簡易知能評価スケール」が、十七年ぶりに改訂されました。

従来の十一項目の中から「太平洋戦争が終わったのはいつですか」という質問など五項目を削除して、新たに野菜の名前を言わせる質問など三項目が加えられました。

この改訂版を正常人六十二人、痴呆症患者九十五人に試した結果、痴呆症患者の九〇%を判定し、旧版や他の同種のテストよりも精度が良かったという実験結果が報告されています。

反応性のうつつ状態に注意が必要

以上は初期痴呆と紛らわしいのは、うつつ状態、一過性全健忘、失語症や失認、軽度の意識障害などがあります。なかでも注意しなければならぬのは反応性のうつつ状態です。親しい人との離別などの精神的なショックが引き金となって起き

私の経験では、脳梗塞となつて体が不自由でも「今の内閣はどうもなっていない」といふなど言っている人は、なかなかボケないようです。また、つい最近まで浮名を流していた人もなかなかボケないようです。「色ボケ」という俗語がありますが、ボケとは言うもののどうも痴呆とは関係ないようです。ボケないためには、いつまでも悩み、苦しむ、文句を言いつつながら仕事をやる浮世に在るのが最も良いようです。次回は治療について述べたいと思います。

では、どんな人がボケやすいのでしょうか?このことについては、いろいろな統計や報告がありますが、共通するのはこれと言った趣味もなく時間のあり過ぎる人、社交的でない人です。この意味で女性の方が男性よりも痴呆になりやすいといわれるのもうなずけます。逆にボケにくい人は、高齢になるまで仕事をしていた人、趣味やスポーツに強い人、興味を持っている人、社交的で大胆な性格の人など、いつも何かをしている人のようです。

## 新年号クロスワードパズル当選者発表

答え  
コトシハウルウドシ  
☆当選者には使い切りカメラをお送りしました。

- 当選者 (敬称略)
- ・喜多喜代美 (野々市町)
  - ・高野 香 (金沢市)
  - ・華岡 一哉 (輪島市)
  - ・林平 成子 (〃)
  - ・山崎美和子 (〃)

ハガキの意見欄から

- 読みやすく楽しく拝見しました。(輪島市・北浜陽子・公務員)
- 私は最近自分の老後について良く考えることがあります。女性と老後の問題、とても興味深く読ませていただきました。(輪島市・山崎美和子・公務員)
- 「疑い」はおもしろかった。前より内容が変わったみたいですね。インタビューは地元の松下先生でしたので、興味深く拝見しました。(輪島市・毎田純子・公務員)
- カラー写真のページがいつもと違って新鮮な感じでした。(野々市町・喜多喜代美・医療事務)
- 「会員投稿、創作のコーナー」と

「お訪ねします」がとてもおもしろく、ずっと続けて下さい。(輪島市・林平成子・公務員)

○「疑い」はおもしろいです。最後のところなんか本当にありそうな話でした。(七塚町・東皆子・団体職員)

○「白鳥の里」の写真2枚、素晴らしいと思いました。実は1月12日に押水から千里浜までドライブしたのですが、羽咋市のどの辺か分からず引き返しました。機会あったら再度出かけてみようと思っていますので、地図を教えてください。またモーゼの墓という看板も見ましたので、同時に教えてください。(小松市・岩田卓造・医師)

○日々進歩する医療の中、心新たに

させられたり、ホッとさせられたり先生方の努力に感心することしきりです。今後もステキな貴紙のままでいて下さることを願います。(金沢市・田村真理子・医療事務)

○「疑い」はおもしろかったです。南極体験談をもっと聞きたいです。(鶴来町・竹下元・医師)

○いつも楽しく拝見させて頂いています。今年も頑張って下さい。「疑い」という短い小説が、おもしろかったです。「食べ歩き会」が楽しそうでした。いろいろなお店の紹介をお願いします。(鶴来町・小山文誉・医師)

○新春にふさわしい記事でした。(珠洲市・刀弥季子・主婦)

○新年号にふさわしい新聞で大変よかったです。(寺井町・松本陸・事務員)

○迎春号は充実して楽しい内容でしたので、隅から隅まで読み、写真もきれいだと思いました。(穴水町・忠縄輝雄・医師)

こぼれ  
ぼなし

プロパーの上野君は山男でスキーがうまい。ある冬山の小さな山小屋に泊まったとき、夜中に尿意を催した。外にあるトイレに行くべき裏戸を開けようとしたが凍り付いて動かない。そこで彼は思案の末、小水をはけることを思い付いた。その結果、戸は開いた。「俺はなんて頭がいいんだ」と思いながら彼は外に出たが、何もするとはなかった。

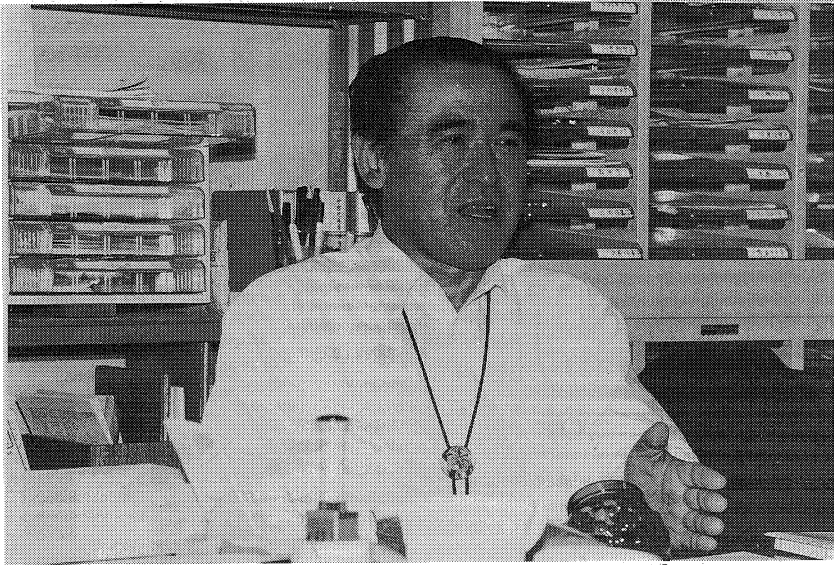
○毎号楽しく読ませてもらっています。と言うのも、堅い記事より後半の読みものの方をよく読むからなのです。ショートフィクション「疑い」は、最後のオチが効いていておもしろかった。(輪島市・華岡一哉・地方公務員)

# 医療福祉をささぐ人たち

27

## 社団法人金沢こころの電話

金沢市尾山町10-5  
石川県教育自治会館内  
☎0762 (22) 7531  
(事務局)



金沢こころの電話副会長の花山勝道氏

### 高校生の自殺予防を目的に発足 今では「痴呆」や孤独など多彩

青少年のこころの悩みから職場のストレス、高齢者の相談など、電話相談では十五年の実績を持つ、「金沢こころの電話」の花山勝道副会長に、こころの電話の発足から実際の活動内容、カウンセラーの養成方法などをおたずねした。

#### 15年前、 高校教師の 有志で発足

金沢市尾山町にある石川県教育・自治会館二階に、「金沢こころの電話」の事

務局がある。事務局には受信専用電話が三台並んでおり、ひっきりなしに電話がかかってくる中でインタビュートとなった。

「金沢こころの電話」は高校生の自殺予防を目的に発足した。受験戦争のおおりに、昭和四十年代後半は県内で毎年十人近くの自殺者があり、石川県では、すべての県立高校に高校教師カウンセラーを配置し、相談活動を行っていた。

当時、金沢地区「高校カウンセリング研究会」の講師をされた道下忠蔵先生（県立高松病院院長）の呼びかけにより、高校カウンセラー有志が、ボランティア組織として「金沢こころの電話」を五十二年四月に発足させた。当初は、土曜夜間と日曜だけの受信時間帯であった。花山さんは第一期の会員（電話カウンセラー）であり、以前は高校教師として生徒指導に関わっておられた方である。

最初は二十八人の高校教師が集ってスタートしたが、受信時間帯の拡大とカウンセラー増員のため、四期目

#### 相談専用電話番号

金沢こころの電話

0762-22-7556

カナザワ・ツーツーナ・ココロ



#### 毎日、 平均七件の 相談が

から「一般公募」を行っており、サラリーマンや公務員、看護婦、主婦など、多様な職種の人が会員になっている。

現在では会員百八十四人を擁し、このうち百三十二人が月一〜二回、三人ずつの当番で、平日午後六時〜九時、日曜・祝日・振替休日午前九時〜午後九時の間、電話相談を行っている。最近では、毎日平均七件、一件三十分ほどの相談

が寄せられている。主な相談内容は下表のとおり。

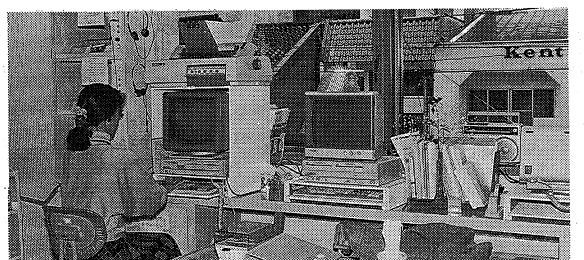
#### 事柄よりも 相談者の 心に触れる

「金沢こころの電話」では担当者の心得として「傾聴の態度」を重視している。例えば、「相談者の事柄ではなく、心に触れること。子供や主人（妻）、祖父母のことについての相談の場合でも、相談者本人の心に触れること」（相談の事柄にとらわれず、心情に触れるよう努めている）「最初にいわれたことにこだわらない」（話の始めに出た事柄が、必ずしも本当の困りごとでないことがある）「ささいなこと・ちいさいこと・つまらないことにも耳を傾けましょう」

相談者は電話帳や新聞を見て、電話をかけてくるので「金沢こころの電話」には、事柄の相談は比較的少ないという。相手の心情の理解に努め、信頼関係をつくることを最も重視している。

#### あくまで ボランティア として

ボランティア組織では、継続性と財政確立が悩みの



相談担当の当番表の作成など、事務の省力化にパソコンが大いに役立っているという

種であるが、会費と賛助会員の寄付金のほか、石川県から百十万円、金沢市から三十万円の補助金により、どうにか運営している。あくまで、ボランティア組織として進めていきたいと考えている。

「金沢こころの電話」では、電話カウンセラーの養成のため、心理学や精神科医、法律家らの専門家の協

最近の社会事情を反映して、ストレスに悩む人や痴呆老人をかかえる家族が

#### 社会資源を もっと 利用したい

力も得て、毎年「電話カウンセラー養成セミナー」（講義六十時間、実習二十時間）を開いており、また、会員には月一回のグループ研修があり、息長く続けていけるように努めている。

紹介するようになっている。相談機関相互の連携など、社会資源の利用法についてはもっと研鑽していきたいと考えている。



電話相談室は壁で仕切られているため、周囲の雑音などは入りにくくなっている

保険医協会でも電話相談「老人の医療・福祉」一〇番を行っており、花山さんがいわれた「相談の事柄でなく、相手のこころにふれる」という担当者の心得に大いに教えられた。また、「電話カウンセラー養成セミナー」の内容にも関心がああり、条件が許せば受講してみたいと思う。

（事務局 神田）

金沢こころの電話では、会員・賛助会員を募集しています。詳しくは金沢こころの電話事務局まで

取材後記

#### 主な相談内容

相談内容	件数
身体・精神	1,237
家庭	873
友人・恋愛	384
孤独・生き甲斐	366
問題行動	219
職業・職場	176
結婚・離婚	156
学校	150
老人問題	141
その他	377

(1990年度)

会員投稿コーナー

# 医は 仁術

シヨート・フィクション

〇・ひろし

「〇先生、退院の河井さんのご家族の方がごあいさつをしたいと思います。外來で待っているそうです」

産婦人科の病室で回診していた私を、外來からの電話を受けて看護婦が呼びにきた。私は外來までの長い廊下を歩きながら、その患者のことを思い浮かべた。



あれは五日前であつたらうか。ある若い患者が、医長から子宮外妊娠で手術が必要と言われながら、手術を拒否した。理由を聞いてもなかなか言わない。私が廊下へ連れだし、なだめすかしてやっと聞きだすと、お金がないからだという。二十一かそこらで結婚しているのだろうか。それほど寒い気温でもないのに鳥肌立って、色が抜けるように白い。地味なグレイのワンピースの小ぶりな体、軽く突った鼻、その下にすぼまった唇。そして丸く見開かれた瞳、可憐な顔立ちのどことなく愁いの影が感じられた。もし手術しなければ、彼女はそのまま死んでしまうかもしれない。

「私が金を出しますから手術を受けてください」

思わず私はそう言ってしまった。しかし、卒業一年目の無給で研修医の私には、金の余裕はほとんどない。女房と生後六カ月の息子との三人の生活費は、市外の産婦人科病院での週二回の徹夜のアルバイト代でやっと賄っている。患者さんから退院の時にたまたま戴く謝礼が少しあろうか。その一部を女房に内緒にへソクっているのを出そうと考えたのだ。すると医長が気をきかせて、私に手術をさせてくれたのだ。自分の金で人の難渋を助け、自分の手で人の命を救ったのだ。医師として人間として、これ以上の

喜びはない。私は思わず顔がほてった。

廊下を右に曲り、産婦人科外來室の前に来た。ドアを開けずに腰を屈めて受付の小窓をのぞくと、看護婦がひとり椅子に座って診察のカルテの整理をしていた。

「呼び出しありがとうございます。面会の方はどこですか」

「男の人が二人、なんでか知りませんが、駐車場に待っているそうです」

診察室前の廊下の突き当たりのスチールドアを開けて、駐車場の横へ出ると、車の間に西日の逆光を受けて二人の黒い影が立っていた。

「河井さんのご家族ですか、主治医の〇です」

「手術はありますか。しかし、兄貴の姐さんに手をつけたのはあんたか」

「手術したのは私ですが……」

「いや、妊娠させたのはあんたかと尋ねとんのじゃ」

「そんなばかな。違いますよ。私は関係ありません」

「そんなら、なんで金を出したんじゃ。何もしないものが何で金を出すんじゃ。その話を付けにわしらは来たんじゃ」

こうして私は、大きな親切や善行が、しばしば悪意や悪行と誤解されるものであることを学んだのである。

**碁** 出題者 六段 向井富治 (金沢市・内科)

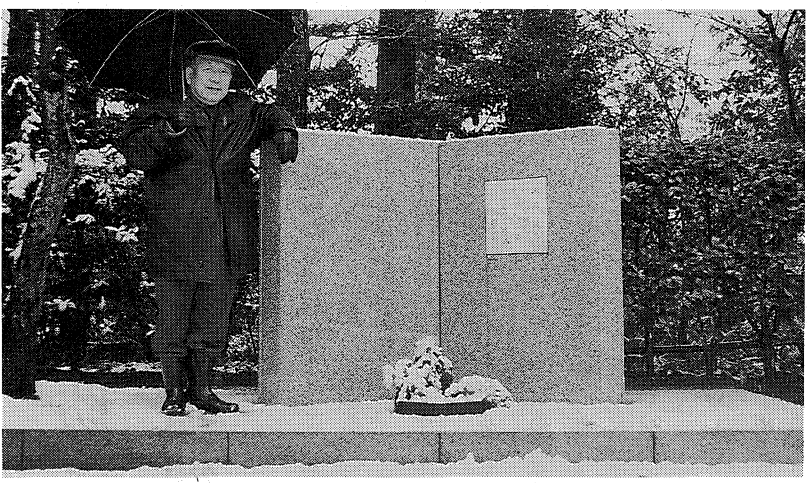
**お譲りします**

入院患者用のベッド(中古)を無料でお譲りします。  
 ・床高：四五cm・長さ：一八二cm・幅九〇cm 八台  
 ・床高：五〇cm・長さ：一九〇cm・幅九〇cm 四台  
 二種類ありますので、それぞれの必要台数をお知らせ下さい。  
 ウラマットは少し汚れが付いていますが、よければベッド数分お持ち下さい。  
 連絡先 ☎〇七六一(三) 五一三三 井口外科学院まで

鳥居方策五段の対局に現れました。白番でどうなりますか。(解答2面)

## 栗野利雄先生の 記念碑めぐり [24]

### 深田久弥文学碑 (加賀市大聖寺町)



本を開いて立てた形の深田久弥文学碑と栗野先生

江沼神社(加賀市大聖寺町)のひっそりと人気がない境内に、一冊の本を開いて立てた形のユニークな文学碑が立つ。碑面には一編の詩が刻まれている。

山の西を顧みて  
 何の浮のわが心  
 早も急かるる次の山

深田久弥は、近代的な高い知性と明るいウィットを身につけ、詩人というよりも随筆家、小説家であった。

### 山で育ち、山を愛し、山で死んだ作家

明治三十六年、白山の麓、大聖寺で生まれ、山で育ち、山を愛し、山で死んだ山男でもあった。もともとひ弱な体質ではなく、登山家的作家と呼ばれる。登山家の作家と呼んだ方が彼にはふさわしい。

登山歴約六十年、おおよそ二百五十回に及ぶ登山行の始まりは、小学生時の富士写岳登頂(山中町)、中学生時の白山登頂であった。まさしく、「梅檀(せんだん)は双葉より芳(かんば)し」

紙商を営む父「弥一」と、母「とめ」の間に長男として生まれたが、その後を継ぐことはなかった。福井中学より一高を経て東大哲学科へ進み、在学中に『武人鑑賞録』を発表して川端康成と横光利一に文才を認められ「文学同人」に加わる。

昭和五年四月、「文芸春秋」に発表した『オロッコの娘』が好評を得る。同年十月、大学を中退して作家生活に入る。その作風は反文化主義に基づく野生と健康の謳歌であり、中学生時代から親しんだ登山も反文化主義の一つの現れといえよう。一般の人は(本人の意識

とは別に)氏の登山の本質を「野生の充電」と見なしていた。

昭和十九年三月応召し、中国湖南戦線では歩兵小隊長として転戦した体力の持ち主でもあった。復員後は金沢や東京を転々として、『吾が小隊』を著す。

昭和三十年に上京。ヒマラヤの研究に没頭し、『ヒマラヤ山と人』や、『シルクロード』を著作。ヒマラヤ探査行に出かけ、その成果を『雲の上の道』として刊行する。

昭和三十九年七月、『日本百名山』により読売文学賞を獲得。

昭和四十六年、日本山岳会副会長に就任。この

年三月二十一日、山梨県茅ヶ岳頂上(千七百四十メートル)近くにおいて脳卒中で急逝。享年六十八歳、生涯の医者嫌いであった。

しかし、氷壁を攀(よじ)るといった冒険的登山家ではなく、「人間にも人品の高下があるように、山についてもそれがいえる」といった著者独自の山岳哲学があった。彼の本領は、作家活動よりもむしろ詳細綿密かつ卓抜した山岳研究にあったと言えよう。

——この一編を、昨年五月七日に北アルプス山中で遭難された故高島朔先生に捧げたい。——